

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		中央公民館事業費 [中央公民館施設管理]									
予算科目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費	事業番号	1
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	中央公民館 課 事業 係					課長名		佐伯芳幸			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	1 - 2		
【施策名】 生涯学習の充実								総合計画書(ページ)	35		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	中央公民館利用者					中央公民館利用者数 (集計表あり)					
	→										
この仕事の目的	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
	利用者が安全に利用できるようにする					公民館の利用率 (集計表あり)					
	→										
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
	①施設内外の点検・確認 ②業者に点検委託している ③工事修繕					①開館日数 (集計あり) ②委託件数 (予算書等参考) ③施設工事修繕件数 (実績より)					
	→										
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績		令和2年度目標	令和3年度目標		
	対象指標	①の数値	人	104,250	108,301	83,541					
	成果指標	②の数値	%	66.7	68.6	63.4					
	目 標	②の目標値		目標値設定の考え方							
3 経費	事業費(実績)		円			80,665,839		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円			21,499,989					
		特定財源	円			59,165,850					
		(うち受益者負担)	円			326,850					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人								
所要人数(再任用)		人									
職員人件費(再任用以外)		円									
	職員人件費(再任用)	円									
事業費+人件費		円	0		0		80,665,839				
4 環境変化等	(1) 開始年度		昭和49年度								
	(2) 環境の変化		<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度耐震化工事 平成31年度外壁及び屋上防水改修工事 平成31年度ホール天井改修工事 平成31年度より「3経費」の計上方法を変更した(「中央公民館事業」に経費を一括して計上していたが、「中央公民館事業」「中央公民館施設管理」「公民館運営審議会の開催」「五館合同事業」にそれぞれ計上するようにした(人件費を除く))。								

事業名称	中央公民館事業費 [中央公民館施設管理]			
担当部署・課長名	中央公民館	課	事業	係 課長名 佐伯 芳幸

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	障害者用トイレドア不具合、トイレ排水不具合、トイレ洋式化	
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)	
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点	
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記）	
	施設の老朽化のため、修繕箇所が多数ある。	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。	
	外壁及び屋上防水改修工事、ホール天井改修工事、トイレ修繕、排水つまり修繕、畳修繕、空調機修繕等	
8 施策貢献状況	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）	
	修繕を必要とする箇所が多数あるため、状況把握に努め、計画的に修繕を実施する必要がある。	
9 今後の方向性	8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）	
	施策名：生涯学習の充実 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名：)	
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）	
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 計画的に修繕を実施し、大規模修繕が必要なものについては実施計画に計上し、予算確保に努める。	
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等	
・修繕箇所の把握 ・実施計画への計上		